

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第32号 平成23年10月30日

お見事幹男、勝利投手に勝利打点！！

	1	2	3	4	5	6	7	R
B	2	2	0	0	0	0	0	4
G	0	1	0	0	2	0	2 x	5

柔よく剛を制す！



10/30(日)新横浜公園野球場で、上の宮バ'イ'ン sとのオープン戦を行った。開始前は、若さに振り回されるか?と思ったが、終わってみれば、経験の差による勝利を手中に収めた。ゲームは、相手先攻でプレイボールとなった。今日の先発は政司、その立ち上がりがいつもの立ち上がりとは異なり、3者連続四死球というスタートとなった。無死満塁で後続は空三振で斬ったが、続く後続には、アンラッキーな中前安で先制、その後二死を取ったが、またもや先程同様なアンラッキーな中前安で初回から2失点と珍しい立ち上がりで幕は開けた。続く回にも安打と四球で溜めたランナーを今日一番の飛球を左越に運ばれ、この回も2点を献上し、前半から4点を追いかける内容となってしまった。しかし、この2回の裏の攻撃、3つの四死球と一つの安打で1点を返し、ここから徐々に反撃の幕明けとなった。3回からは政司の投球も安定感を取り戻し、マウンドを降りる6回まで、1・2回の乱れがうそのような内容で、与四球0、被安打1という内容でマウンドを降りた。最終回を託されマウンドに上がった幹男も二死後に四球を与えたが、打者4人で抑えた。さー、我がチーム5回の攻撃、先頭の瀧本、続く深沢が2連続安打で出塁、ここで、今年好調キープしているこーすけが、5球目を右中間に運び、2走者がホームインし、2点を返し、その差は1点差で最終回へ。最終回の先頭は、こーすけ、2空振り、2ストライクと追い込まれたが、自身が後に語ったが、タイミングが合わなかったので、四球選に变更した。と余裕のボックス裁き、その後は2盗、5番打者の時には、WPで3塁へ進塁、後続は、結局四球を選択し、無死1・3塁とさよならの状況に刻一刻迫していった。ここで、ゲームは動いた。6番梶原の場面で何と祐太郎がパスボールを犯し、3塁から同点のランナーを返してしまった。スローで映像を確認したが、足の状況と捕手が本職でない事から、体でボールに入らなかったのが、このPBBの要因。結局この梶原も四球を選択し、振り返ると3者連続四球という状況。ここで、打席には最終回マウンドに上がった幹男、もしここで1発出れば、勝利投手に勝利打点ゲットとなる。2ボールの後の3球目、スイングしたが、そのスイングは全くタイミングは合っていないし、ましてや、そのスイングはボールを見ていないスイング、ベンチからは、ボールを見ろ!顔を残せ!とここぞの声援が打席に送られる、ましてや、何とかバットに当てろ!との声も・・・しかし、4球目に幕は下りた。やや振り遅れぎみのスイングから放たれた打球は、一二塁の間を綺麗に抜く打球でさよなら打を決め、勝利投手の権利をゲットした。あきれめないこの気迫が、この一振りを呼んだのであろう。

今日の勝敗の分かれ目は若さと経験。投球の早さで打ち取るう・抑えようとした結果が、10個もの四球という結果であった。ここがもう少し、打たせて取る、という考えになったら、今日のゲームはどうなっていたか分からない。しかし、何れにせよ、あきらめない気持ちが結果を呼ぶ、という事も勉強になった今日のゲーム、この気持ちを区民大会にも繋げよう!ベスト8へ!